

受験シーズンも終わり、新たな年度が始まりました。当然新しい年度は大学も入学式から始まりますが、入学式でどんな式辞を学長が述べているか毎年気になります。そして今年が一番の話題と言え、東京大学の入学式でフェミニストで社会学者でもある上野千鶴子教授が述べられた祝辞でしょう。ニュースなどでも取り上げられましたからおそらく見た人もたくさんいると思いますが、東京大学のHPにも全文が掲載されています。少しここに引用したいと思います。上野教授は昨年話題になった医学部入試の不正問題に触れ、「女子学生が男子学生より合格しにくいのは、男子受験生の成績の方がよいからでしょうか？(途中略)男子優位の学部、学科は(医学部の)他に見あたらず、理工系も文系も女子が優位なことが多い。」と述べ、一部の医学部で男子学生の合格率が高いことに疑問を呈しています。その後、東大入学者の女性比率に話題を移し、「東京大学入学者の女性比率は長期にわたって「2割の壁」を超えません。今年度に至っては18.1%と前年度を下回りました。統計的には偏差値の正規分布に男女差はありませんから、男子以上に優秀な女子学生が東大を受験していることとなります。」と述べています。確かに優秀な女子生徒は多いにもかかわらず、「東大を志望しています」という生徒は本校でもほとんどいません。詳しくはHPを見てもらうとして、上野教授の祝辞で最も印象に残った部分は、最後の方で「あなたたちのがんばりを、どうぞ自分が勝ち抜くためだけに使わないでください。恵まれた環境と恵まれた能力とを、恵まれない人々を貶めるためではなく、そういう人々を助けるために使ってください。」と述べている部分です。東大生ひとりあたりにかかる国費負担は年間500万円だそうです。その金額の大きさにも驚きですが、是非恵まれた環境と恵まれた才能を人類の幸せのために活かして欲しいと願います。

さて、最近の大学では実にいろいろな学部学科があり、研究は多岐にわたっています。先ほどの上野教授が研究されている「女性学」も先生がパイオニアとなって新しく作られた学問でした。先日、ある雑誌に「採用学」という言葉を見つけました。この新しい学問を研究されているのは神戸大学の服部泰宏准という先生で、「企業が人材を採用する活動について、科学的な手法を用いて研究する」ものだそうです。詳細は先生の著書『採用学』(新潮選書)を読んでもらうとして、興味深かったのは「人には、変わりやすい能力と変わりにくい能力があり、企業は変わりにくい能力に注目すべきだ」と述べている部分です。例えば、面接などでうまく対策を立てて入社しても、辞めてしまう学生が多い。せっかく採用しても辞められてしまつては企業にとっても大きな損失です。面接などに対処する能力は「変わりやすい」能力であり、言葉は悪いですが、一時的に取り繕えるものです(それはそれで素晴らしい能力とは思いますが)。取り繕えないような「素」の部分(つまり「変わりにくい能力」)に注目して、それが企業が求める「素」の部分かを見極めることで企業と学生のミスマッチを防ぐのが目的のようです。これからのキャリア教育を考える上でたいへん参考になるのではないかと思います。

9月までの主な進路行事

「進路シラバス(保護者版)」の各学年欄も御覧ください。

- 5/20(月)~24(金) 中間考査
- 5/25(土)26(日) 3年 第1回西三テスト(進研マーク模試5教科)
- 6/19(水)~26(水) 1~3年 保護者懇談会(24(月)~26(水)は4限授業)
- 7/1(月)~7/5(金) 1学期期末考査
- 7/6(土) 1年 模試(進研記述3教科)
- 2年 第1回西三テスト(進研記述3教科)
- 7/6(土)7(日) 3年 模試(進研記述総合5教科)
- 7/22(月)~8/6(火) 1・2年 夏季補習(校内、7/27、28、8/3、4除く)
- 7/22(月)~8/9(金) 3年 夏季補習(校内、7/27、28、8/3、4を除く)
- 8/3(土)4(日) 3年 模試(第2回全統マーク模試5教科)
- 8/7(水) 1年 職場訪問研究センター日(9月に訪問結果の発表会)
- 2年 大学訪問研究、オープンキャンパス参加
- 8月中旬 3年 東大・京大・名大オープン、実戦模試(公開会場、希望者)
- 8/18(日) 2年全統高2模試(公開会場、希望者)
- 8/19(月)~23(金) 3年 夏季補習後半(校内)
- 8/27(火) 1・2年 東大見学会(希望者)
- 東大生(本校卒業生を含む)との懇談、研究室見学
- 8/31(土) 3年 模試(第2回全統記述2次試験型)
- 9/3(火) 3年 大学入試センター試験受験案内(志願票)配布・記入説明
- 9/21(土) 3年全統論文模試(校内、希望者)
- 9/29(日) 3年 駿台全国模試(公開会場、希望者)



フォトコンテスト最優秀作品です



リトルワールドの定番ですね

1年生

<オリエンテーション合宿> 4月15日から2泊3

日の日程で、旭高原少年自然の家に行ってきました。様々な研修、野外炊飯、校歌発表会などを通して、クラスの仲間との絆を深めることができました。また、自ら主体的に行動する姿がよく見られ、感心しました。出発前には不安な顔をしていた生徒たちも、合宿から帰ってくる頃には「西高生」としての自覚を持ち始め、また今後の高校生活に対する自信を得ることができたようでした。



おいしいカレーが出来るかな

<1学期中間考査> 高校生として最初の定期考査です。高校に見合った学習を早く確立し、万全の準備をして臨んでもらいたいと思います。学年順位やクラス順位に目が行きがちですが、この時期、順位は問題ではありません。一番大切なことは、基礎基本が定着しているか否か、高校の授業に対応した家庭学習ができたか否かです。理解不足の箇所は復習をきちんと行うとともに、次回の考査に向けて学習方法や内容を再点検するようご家庭でもアドバイスをお願いします。

<進研模試> 高校生になって初めての全国模擬試験です。7月6日（土）に国・数・英の3教科を受験します。学習内容が定着しているかを把握し、補強する機会としてもらいたいものです。全国のライバルを意識し、自分の学力がどのくらいであるのかも把握できるので、刺激を受けて今後につなげましょう。

2年生

<2年生になったの心構え> 2年生になり、文理・類型別のクラスに分かれました。

授業の内容もこれからどんどん専門的になっていきます。また、初めて学ぶ科目もいくつか登場します。大変に感じることもあるかもしれませんが、何事も始めが肝心です。日々の小テストや予習、課題に計画的に取り組み、来たる中間考査に全力で臨んで欲しいと思います。部活動も2年生中心の体制へと移行した他、西祭、修学旅行、学習合宿、SSH関連事業など行事も盛りだくさんです。上手に勉強と両立させたいものです。

<遠足へ行ってきました> 4月16日（火）に、リトルワールドへ遠足に行ってきました。年度当初で、生徒も教員もまだお互いをよく知らない状態でしたが、班決め、事前の計画、当日の活動を通して、クラスの結束を強めることができたのではないのでしょうか。76回生には、良い集団として結びつき、互いを高め合いながら、残り2年の高校生活を作り上げていってほしいと思います。

<進路春休み課題より> 春休み課題で取り組んだ「大学・学部・学科研究」の発表会を、各クラスで行いました。グループやクラス全体で友人と調べた内容を共有することで、視野が広がり、自分の将来に新たな可能性を見出すことができました。身近に良きライバルが多くいることで、切磋琢磨して伸びていくことができます。高い目標を持ち、努力を続けていってほしいものです。

3年生

<遠足> 4月16日（火）に、ナガシマスパーランドへ遠足に行きました。当日はう

らかな陽気で、絶好の遠足日和となりました。園内はそう混雑しておらず、先月できたばかりのジェットコースター「白鯨」など、生徒達は目一杯楽しんでいる様子でした。行きのバスの車内は、西祭の役員決めなどで盛り上がり、帰りのバスでは一転つかれてぐっすりでした。ともに受験に向かっていく仲間との絆を深めることのできた、貴重な1日となりました。

<授業・補習・学校行事への参加> 4月12日（金）の早朝補習から、今年度の補習が始まりました。3年生は、土曜セミナーや週4回に増えた早朝補習に加え、期末考査後からは業後自習も実施されます。部活動引退の時期を迎え、中間考査の後には西祭の準備が本格化し、そして6月の西祭が終われば、すぐに期末考査です。慌ただしい日々を送ることとなりますが、これらすべてに妥協することなく、全力で駆け抜けて欲しいと思います。

<模擬試験の活用を！> 3年生では、昨年度と比べ格段に模擬試験の数が増えます。これまでの記述模試やマーク模試に加え、志望大学の傾向に合わせたオープン・実践模試も実施されます。復習をその度にしっかりと行うことで、苦手を克服することができます。結果がなかなか出なくても、むやみに焦ったり、落ち込んだりする必要はありません。結果を分析し、自分の苦手は何で、どのように克服していくべきなのか、戦略を立てて学習に励みましょう。第一志望校合格、という目標に向けて、是非模擬試験を上手く活用していきましょう。

<課題研究の開始> SSHの一環で、昨年度に引き続き、3年生でも課題研究を実施します。多くの班が2年次に設定した研究テーマに継続して取り組んでおり、8月1日に市民文化会館で行われる成果発表会を目指します。答えのない問いに対して、客観的に考察を重ね、自分なりの結論を導き出すという、大学での学びにも必要となる総合的な知力を、この課題研究を通して身につけて欲しいと思っています。